

千葉大学総合学生支援センター

ふれあいの環

活動 報告書

2022 年度



国際未来教育基幹キャビネット 学生支援センター長
下 永田 修 二

今年度は新型コロナウイルスが5 類感染症に移行になり、キャンパス生活も活気を取り戻してきたことを感じる1年となりました。ふれあいの環の活動も、それぞれの団体が新入生サポート会、子ども向け防災イベント、ユニバーサルフェスティバル、ノートテイクといった以前から行っていた活動を取り戻すことができました。学生は、この1、2年の空白期間があったことで、それぞれの活動の準備等苦勞をしている様子もみられましたが、学年を越えて協力することで、新しい要素も取り入れた活動ができていたと思います。

また、1月には能登半島地震がありました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。ふれあいの環の学生は、普段からボランティア報告会等を行っていることから、この地震の発生を受け、何かできることはないか考えている雰囲気が見られました。直接、現地に赴けない時にも何かできることはないか考え、行動していくことは少しでも被災地に届いていくことと思っています。

この1年間、ふれあいの環の活動を支えていただいた皆様に感謝申し上げますとともに、4月からは新しい仲間を迎えて、学生、教職員とともに考え、活動をしていきたいと思っておりますので、今後も継続したご支援をよろしくお願いいたします。

ふれあいの環 代表
信 太 郁 美

2022年度は、私たちふれあいの環にとって、挑戦の年であったということができると思います。前年度に比較して新型コロナウイルスに関連する規制が緩やかなものとなり、各団体の活動も少しずつ元の形に戻っていくという過渡期の中であって、ふれあいの環のメンバーたちは、変わりゆく世の中に翻弄されながらも柔軟に対応し、自分たちの活動の灯をつなげてきました。この報告書を通して、活動に対する学生たちの前向きな姿勢を、目を通してくださった皆様に少しでも多く、鮮明にお伝えすることができれば幸いに思います。

最後に、日頃からふれあいの環の活動を支援してくださっている顧問の先生方や教職員の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

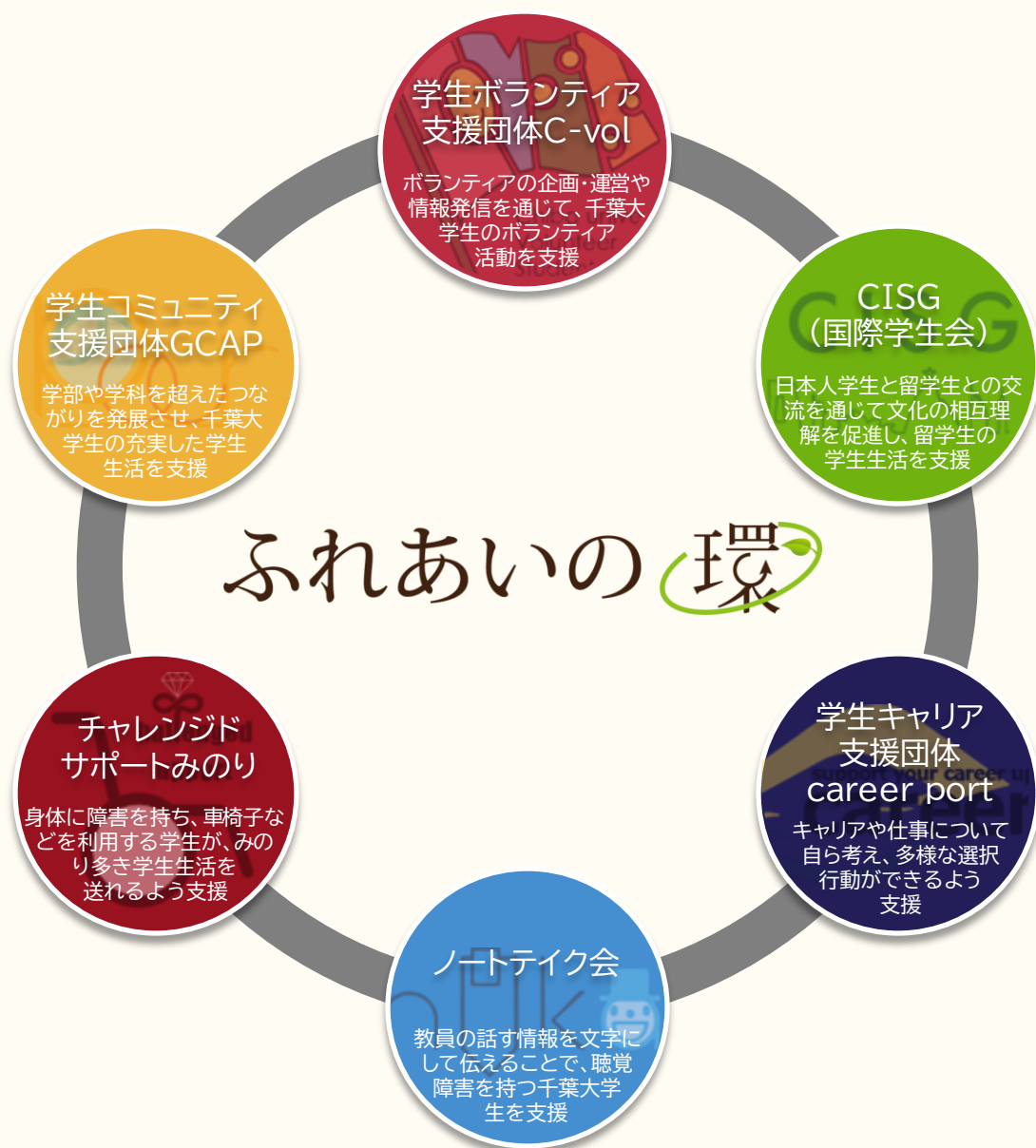
これからのふれあいの環の活動にも、ぜひご期待ください！

ふれあいの環とは

「ふれあいの環」は、学生による学生支援活動(ピアサポート)やボランティア活動をはじめ、さまざまな活動を展開しています。

学生と学生、学生と教職員が相互にふれあいながら、イベントなどを通じて総合的な人間力を涵養することを目的に設立されました。

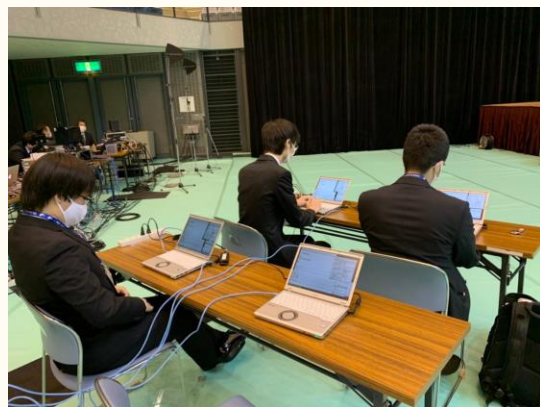
「ふれあいの環」では活動趣旨の違う6つの団体が活動しています。



千葉ポートアリーナで入学式が開催された。今年も昨年度と同様に感染症対策を徹底した上での開催となったが、本年度も無事に入学式が挙行され、活動を支援することができた。

慣れないスーツに身を包み、新たな生活に胸躍らせる新入生の姿が印象的であった。ノートテイク会は前方に設置されたスクリーンを利用しての字幕通訳という形の情報保障を行った。

多くの学生が注目する中、大きなトラブルに見舞われることもなく、ノートテイク会の活動の紹介にもつなげることができた。



日程：2022年4月5日 参加者：学生3名、教職員1名

新入生サポート会

GCAP

新入生サポート会では、主に新入生に向けて時間割の組み方や履修登録の仕組み、そして大学生活に関する疑問を解決するための相談会を実施しています。このイベントは、一対一の個別式で新入生の悩みや疑問、不安などを千葉大学の先輩が解決します。

今年度は感染症対策を十分に行ったうえで対面形式で開催、期間も入学式前から履修登録期間まで長期にわたって設定することで、多くの新入生をサポートした。

新入生の相談では履修に関するものが最も多かった。また、全学生必須となった留学や資格の取得についての質問も例年に比べ多くあった。



日程：2022年4月1日、4日、11日～15日、18日～22日
実施場所：ふれあいの環 学生控え室前 参加人数：学生165名

ふれあいの環主催で「6団体合同説明会」を行った。今年度は対面形式での開催が実現できたが、説明会担当者の割り振りの効率化の面で課題が残った。このイベントは主に新生を対象としており、ふれあいの環の活動を知ってもらうこと、ピアサポート活動に興味を持ってもらうきっかけを作り、新たなメンバーの獲得につなげることを目的としている。



説明会は、学生控室前のスペースを使って行った。説明会について全学メールや各団体のSNSアカウントを通して周知し、それを見て足を運んでくれた新生を中心とする学生は、自分が興味を持っている団体のメンバーから直接、個別に話を聞くことができる。今年度は対面開催ということもあってか、気楽にどこからでも参加できるオンライン形式と比べて集客力は今一つだった。今後はただ説明会を開くだけではなく、学生を集めるためのさらなる工夫が必要であると考えられるため、検討していきたい。

日程：第一弾 2022年4月6日、7日、8日
第二弾 2022年5月9日～5月13日
参加者：学生20名程度

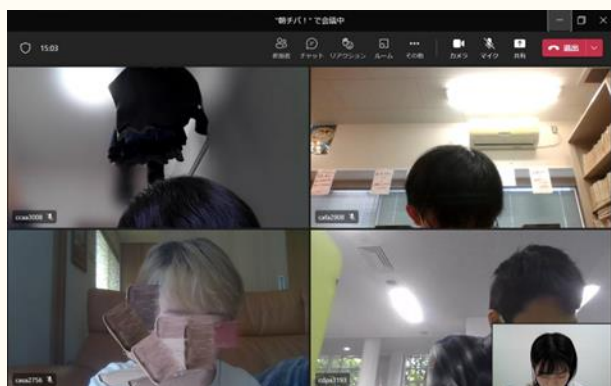
朝チバ！

career port

朝チバ！とは、午前中を活動的にすることをモットーに、毎週月曜日、朝一時間半程度「朝活」を行うイベントである。

毎週決まった時間に集まり、各自自分の勉強や作業など、自分のやりたいことを集中して行う。

各自が最初に目標設定を行い、最後には活動の振り返りを行うことで活動な内容を深めた。仲間と進捗を共有しながら進めることで、モチベーションを高く保つことができ、無為にしがちな午前中の時間を有意義に過ごすことができた。



日程：毎週月曜(1限) 参加者：各回学生3～5名

千葉県少年自然の家では、1ヶ月ごとに、千葉県少年自然の家で、小学生を対象に行われる「マンスリーウィークエンド」をはじめとした子供向けのイベントを多数開催している。

千葉県少年自然の家では、1年を通して、小学生を対象にして自然から四季を感じられるようなイベントが多数企画、開催されている。

C-volでは各種イベントごとに参加メンバーを5名から10名程度募り、ボランティアとして子供達と一緒に自然の家で開催されるイベントに参加している。

2021年度からは主に1年に4度開催される「こどもデイキャンプ」と1年に2度開催される「わいわいフェスティバル」という2つの日帰りで行われるイベントに参加し、子供達を見守る大人ではなく、一緒に楽しむお兄さんお姉さんであることができるように活動している。

日 程：通年 参加者：各回学生5～10名程度

ノートテイク練習会

ノートテイク会

ノートテイク会の活動は、主に聴覚障害を持つ学生への情報保障、練習会、研修会で構成されており、特に力を入れているのは「ノートテイク練習会」である。情報保障の質を落とさないよう、学生のスキルアップを目的に、月に一度開催している。講義の資料や専用ソフトなどを用いて実際の授業に近い雰囲気を作り、専門用語を聞き取る練習を行っている。

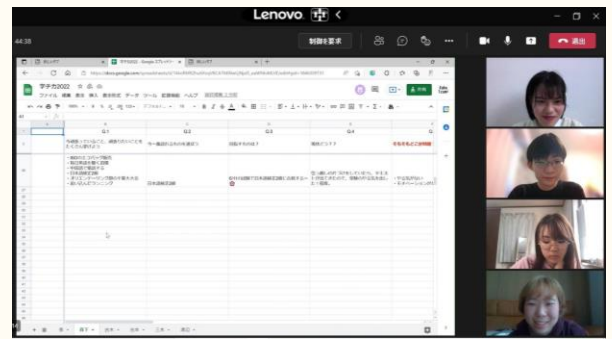
2022年度も、オンラインでの練習会がほとんどとなったが、一年生をはじめとする会員が積極的に参加し、各自のノートテイクの技術を高めることができた。しかし、技術力向上のためには、練習会の参加人数をさらに増やしていくことが求められている。



日 程：月1回 参加者：各回学生3～4名

「ガクチカ」とは、「学生時代に力を入れたこと」を略した言葉であり、就活用語としてよく用いられる。無敵ガクチカ会は、それぞれの学生が力を入れて頑張っていること、また頑張りたいことについて宣言し、有言実行を目指すイベントである。

月1回、オンライン上で開催した。イベントの中では、それぞれの頑張りたいことのほか、なぜその目標にしたのか、それが何が原因でできていないのか、どう対処したら良いのかなどといった問題点の深掘りも行い、メンバーからアドバイスをもらいながら目標達成を目指した。目標を口に出して仲間に宣言することで、やる気の向上にもつながった。



日程：月1回 実施場所:Teams 参加者：各回学生5名～6名

キャンパスクリーンイベント

c-vol

キャンパスを綺麗にしつつ、クイズに答えることでキャンパスについて深く知ることができる一石二鳥のツアーを実施した。

5人一組のグループでキャンパスの掃除をしながら各所に設置された6題のクイズを解いた。掃除で得られたゴミの量やクイズの正答率に応じてポイントがもらえ、ポイントを1番集めたグループには豪華賞品が与えられた。

やりがいがあり、同じ大学の仲間との交流もでき、さらに自分が知らないキャンパスの魅力に気づけるようなイベントだった。



場所：西千葉キャンパス
日程：2022年6月8日
参加者：学生22人

後期から千葉大学に留学する留学生の学生寮への入寮支援を行った。入寮当日には、部屋までの案内を行い、その後、手続きに必要な書類の記入のお手伝い、及び区役所での提出までの一連の流れをサポートした。留学生が安心して日本での新生活を始められる一助となる活動ができていれば嬉しい。

場所: 国際交流会館(留学生寮)
日時: 2022年9月27日~10月4日
参加人数: 学生30人



カタリベカフェ

カタリベカフェとは、GCAPが運営する座談会である。参加者に対して随時に会話を楽しむ機会を提供し、企画が終わった後もコミュニティの継続などを意図して開催している。千葉大学の学生であれば、学年や学部を問わずに誰でも参加し楽しむことができるイベントとなっている。

写真はコロナ禍(2019年)以前の対面開催の様子
→→→



日時: 2022年9月
実施場所: 開催場所: Teams
参加人数: 学生4名



「welcome party」とは、後期から留学にやって来た留学生のための歓迎イベントである。今年度は海外留学生の受け入れ数が増加し、留学生寮での対面交流会を実施できる運びとなった。

留学生たちは、自己紹介や誰でも遊べる簡単なゲームを通して、CISGの学生との交流を行い、お互いに親交を深める機会になった。

場所：国際交流会館(留学生寮)
日程：2022年10月12日、13日
参加人数：学生50名(12日)
学生60名(13日)



縁joy東北

縁joy東北は、東日本大震災の復興支援活動を目的にしたイベントである。C-volは参加団体の一員としてイベントの内容の考案に協力したり、当日や前日の受付・準備のボランティアを行った。

縁joy東北は、東日本大震災の復興を支援し、当時の記憶を風化させないようにすることを目的としたイベントである。

C-volは参加団体の一員としてイベントの内容の考案に協力したり、当日や前日の受付・準備のボランティアを行った。

2022年度は避難者の方に縫い物や編み物を教えていただいたり、犬の口の紙芝居や原発に関する映画の鑑賞・震災当時の写真展を通じて、いかに震災が甚大な影響を及ぼしたのかを参加者の皆さんと共に学ぶ有意義な機会となった。

震災から10年以上の時を経たが、縁joy東北を通して、これからも被災された方々の思いは受け継がれていくだろう。



「就活生応援週間」とは、キャリアポートがNPO法人エンカレッジの協力のもと実施した就活支援イベントである。参加学生らは本イベントを通してES添削や面接練習、就活に関する個別相談に取り組み、安心して就活に臨めるよう準備を整えた。



日程: 2022年11月7日～11日
場所: アクティブラーニングゾーン
参加人数: 10名

Universal Festival ～過去から未来へつなげるUF～

CISG

Universal Festival(以下UF)とは、CISGが年に2回開催している、千葉大学に在籍する留学生たちが自国の歴史・文化などについて発表するイベントである。学内外問わず多くの方々の国際理解を深めることを目的としている。

毎年年に2回の頻度で行われるCISGの主要な活動でもあるUFであるが、2022年からけやき会館で対面開催を再開できるようになった。留学生が自国の文化などを日本語で発表し、CISGの学生はその発表をサポートした。



日 程: 2022年6月23日、12月14日
場 所: けやき会館
参加者: 各回学生10名、教職員5名程度

「ボランティア報告会」は、参加したボランティアの内容や活動を通して感じたことを発信するイベントである。ボランティアに興味のある学生を対象とし、経験者の体験談を聞いてボランティアへの意欲を高めてもらうこと、未経験者がボランティアに対する不安を解消することを主な目的としている。

今年度は対面開催形式が実現し、C-volの学生2名がボランティア活動の報告を行った。各発表者は、秋ごろに行われた「ぼっちゃんの魅力」と、「秋のわいわいフェスティバル」についてそれぞれの活動内容と、経験して感じたことを詳細に報告してくれた。報告の後は、質疑応答や感想発表会なども交え、発表者と聴衆の間で双方向的にコミュニケーションをとりながら内容について理解を深めた。



日程：2022年12月19日 場所：アクティブラーニングスペース
参加者：学生6名 教職員1名

年賀状企画

ふれあいの環

挨拶や感謝の文の記載に加え、「今年の野望は？」というお題を設定し、学生の回答を集めて掲載した。教員・職員の方々に学生の新たな一面を知っていただき、学生にとっても良い目標設定のきっかけとなった。所属している団体や学年等関係なく1つのデザインを作成し、団体内のつながりを認識できる機会とすることができた。

完成したものは、教員・職員の方々に直接訪ねて手渡した。今後もふれあいの環の認知度の向上に役立てていきたい。



日程：2023年1月上旬 参加者：学生7名

低学年向け 就活スタートダッシュ講座

就活支援を行っているNPO法人エンカレッジと共同で、本格的な就職活動を控えた新3年生を対象に、就活についてのレクチャーを行った。

4月からの新3年生をメインターゲットに据え、就活に関する情報や、今からやっておくべきことなどをレクチャーする会を開催した。参加学生は就活の第一歩となる自己分析に取り組み、いち早く就活のスタートダッシュを切った。



日程：2023年2月9日、2月12日 実施場所:zoom
参加人数：学生20名



Farewell party

CISG

「Farewell party」は、2月・3月に帰国する留学生の送別会として大学の学生食堂を借りて開催された。ゲームや出し物などの企画はあえて用意せず、留学生と日本人学生が自由に話すことができる会を目指した。日本を離れる留学生にとって、このイベントが思い出の一つとなっていれば幸いである。

日程：2022年8月24日・2023年2月2日
場所：千葉大学学生食堂
参加人数：学生約15名(2022年開催)
学生約30名(2023年開催)



稲毛区役所にて行われたボッチャ大会に、C-volとして初めて参加した。大会には、小さな子供から高齢者まで、様々な年代の人々がチームを組んで参加しており、試合を通して一緒にボッチャを楽しんだ。

穴川コミュニティセンターにおいて千葉市稲毛区主催の「第4回いなげボッチャカップ」が開催され、C-volは選手兼スタッフとして参加した。

大会は、老若男女問わず誰もが一緒に楽しむことができる「ボッチャ」を通して、区内3大学の学生らと地域住民の交流や、パラスポーツに対する興味と関心を深めてもらうことを狙いとしている。

C-volは、他大学のスタッフと協力し合いながら、コート設営や、司会、審判などの大会運営を行った。試合には、C-volから2チームが出場し、そのうち1つのチームがブロック優勝を果たした。



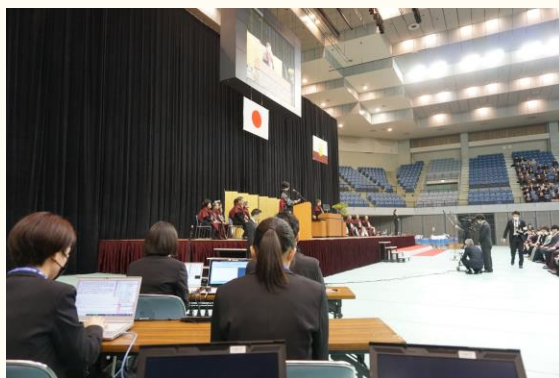
日程：2023年2月19日 場所：稲毛区役所 参加者：学生6名、教職員1名

卒業式

ノートテイク会

入学式同様、卒業式においても、ノートテイク会は前方に設置されたスクリーンを利用したの字幕通訳という形の情報保障を行っている。

千葉ポートアリーナにて卒業式が開催された。式典は、昨年度と同様にオンラインでの配信を行いながら敢行された。晴れ着に身を包み、新たな門出を前に学友と一堂に会する機会を持てたことで、卒業生は充実した学生生活を振り返ることができたことだろう。所々で原稿にない内容をノートテイクしなければならない場面も見受けられたが、適切に対応し、大きなトラブルに見舞われることなく当日活動することができた。



千葉市内の小学生を対象として、防災教育イベント「CCSC(ちばシティサバイバルキャンプ)」を開催した。CCSCは、災害時に役立つ防災知識を、体験プログラムを通して楽しく学ぶことを目的としたイベントである。

今年度は、コロナ禍のオンライン開催を経て、3年ぶりに対面で開催することができた。学生が考えたプログラムを楽しむ子どもたちの様子を見て、対面だからこそ得られるやりがいや喜びを感じた。

①アイスブレイク「防災リュックの中身はなんだろう？」

防災グッズやダミーの選択肢である実物を並べ、その中から災害時に持ち出すべきものを選ぶというゲームを行った。チーム戦にしたことで、子どもたちが親睦を深め、協力する様子が見られた。

②工作

ペットボトルのランタンやダンボールのスリッパなど、身近な材料で簡単にできる防災グッズを作ってもらった。シールやカラーペンを使ってアレンジし、子どもたちそれぞれの個性溢れる防災グッズが完成した。



③ロープワーク

基本的なロープワークとして、もやい結びと巻き結びを扱い、ミッション形式で楽しく学んでもらった。学生による結び方のレクチャーに真剣に耳を傾け、簡単な結び方からやや難しい結び方まで意欲的に取り組む様子が印象的であった。



活動中の写真

6団体 代表挨拶

今年度は、団体・大学内外のボランティアを通じて「つながり」を広げることを目標に活動しました。まず、組織再編に取り組み、メンバーの交流を活発化し、各係が密に連携して活躍できる場を創出しました。また、3年ぶりに防災教育イベントを対面開催したほか、初のパラスポーツ講座・体験会開催など、C-volの「これまでのよさ」と「新しさ」の両軸で活動を充実させることができました。

これらの活動は、皆様のご支援で実現できたものであり、C-volがさらに前進するきっかけになったと感じます。今後も様々な出会いを大切にC-vol一同頑張りますので、よろしくお願いいたします。



学生ボランティア支援団体 C-vol 2022年度代表
梅田 あかり



GCAPは、学生交流イベントの企画運営を行い、学部・学年を超えた学生間のコミュニティの形成や拡大を目的として活動しております。昨年後に引き続き、今年度も新入生サポート会を対面形式で開催し、多くの新入生に来ていただくことができました。カタリベカフェにつきましては、オンライン形式で開催しましたが、参加者が集まらないという課題も残る結果となりました。今後は実施形式を臨機応変に選択しながら、新入生サポート会やカタリベカフェを始めとした様々な企画に取り組んでいきたいと考えています。

学生コミュニティ支援団体 GCAP 2022年度代表
柴田 昇吾



コロナ禍によって、2020年度から2021年度にかけて活動内容の見直しを迫られることとなり、難しい時期となりました。来年度については、代替わりも含めてニューノーマルに合わせた新しい活動内容を作っていける一年にしていきたいと思っております。既年度に作成したバリアフリーマップはキャンパスの変化に合わせて更新する必要が出てきており、その活動についても進めていければと考えております。いろいろなアイデアを出しながら、刺激のある活動ができればと思っております。

チャレンジドサポートみのり
開沼 優希

6団体 代表挨拶



私たちノートテイク会は、聴覚障がいを持つ学生に対する授業での情報保障を中心に、タイピングの技術向上を目的とした練習会から式典時の字幕作成など、幅広い場面で活動しています。小規模な団体ではありますが、志あふれるメンバーとともに、これからより一層利用学生にとって心強い存在になれるよう、一つ一つの活動に取り組んでいきたいと思ひます。

ノートテイク会 2022年度～2023年度会長
信太郁美



私たちは千葉大生のキャリア支援を目的に活動しています。活動の中には直接就活に関わらないものもありますが、1人でも多くの学生に自分のキャリアについて興味を持ち、将来のために動き出せるきっかけを提供したいと思っています。目標達成に向けて頑張っている仲間や、新しい人との出会いに刺激を受けられるこのコミュニティに感謝しています。

学生キャリア支援団体 career port 2022年度代表
泉夏帆



私たちは、留学生の支援や日本人の学生との交流を促進する団体です。今年度は、新型コロナウイルスが始まって以来留学生の数が最多を更新し、CISGとしても規模を拡大することになりました。2023年の11月からCISGをより盛り上げていくために、新CISGとして組織体制を大きく改変し、様々な種類の活動を増やしていきました。

これからも留学生の支援と交流の促進のサポートをし、皆さんに良い思い出を残していただきたいと思います。

CISG (国際学生会) 2022年度～2023年度代表
鳶田芽衣・豊口里菜

ふれあいの環

表紙・裏表紙デザイン: 坂田葵(ノートテイク会)
本文デザイン : 佐久間心菜(C-vol)